

【活動のねらい】

命の尊さと命のつながりを学び、自分たちの住む尼崎に豊かな自然環境を取り戻すため、主体的に取り組む生徒を育成する。

【活動内容】

1 環境教育

学校教育を通じて生徒が自分たちの生きる環境を知り、地域特性に応じた学習活動から自分たちが生きる環境を改善しようとする心と態度を育むことは極めて重要である。生徒の主体的な活動から持続可能な地域づくりへ発展させるために、本校では、尼崎港や運河の過剰な栄養塩で繁殖した藻類や貝類などの生物を、死んでヘドロ化する前に取り上げ、堆肥の材料として作物栽培に利用し、循環型社会の構築につながる研究実践に取り組んでいる。

(1) 尼崎運河の水質浄化活動

4 月 18 日大阪湾フェニックスセンター、NPO 団体と連携して行なってきた大阪湾での海藻育成実験の結果を踏まえ、栄養塩の吸収・固定に用いる海藻としてワカメを選定し、尼崎港で栽培し、観察した。1 月に種付けを行い、毎月一度観察を行っている。

作物栽培を通して循環型社会の構築について学ぶ教育プログラムの完成を目的として、ワカメを育てて海の汚れの元となるチッソやリンを吸収し、枯葉や枯草と混ぜ合わせて堆肥を作り、菜の花の栽培に利用した。

(2) 尼崎駅前公園チューリップ運動参画

4 月 11 日(土) 阪神尼崎駅前公園でチューリップ運動が開かれた。そこで本校音楽部が記念演奏を行い、チューリップ運動に花を添えた。

(3) 2015 春の花と緑のフェスティバル

4 月 29 日(水) 尼崎市西公園にて、尼崎市公園緑化協会と連携して、2015 年春の花と緑のフェスティバルに参加して、緑を増やして、町の環境改善を進めるためにブースを出展した。

(4) 尼崎 21 世紀の森作り

6月～3月にかけて、21世紀の森作りのために、下草を刈ったり、苗を植えたりした。また、森の成長の調査をして環境改善の方法について活動を通して学習した。

(5) エコキッズメッセ

10月10日(土) 尼崎21世紀の森でいろいろな企業が環境のためにどんなことをしているかを学習するイベントが行われた。音楽部が参加した。

(6) ラブリバー活動

10月24日(土)と11月17日(火)、学校近くの庄下川で清掃活動とプランターを設置する活動を整美緑化委員会、運動部、ネイチャークラブで行い、地域の環境美化に取り組んだ。

(7) のびのび公園、尼崎運河での活動

夏休みから12月にかけて、花壇作りに取り組んだ。

(8) 海の学習会、菜種と尼いも収穫祭

11月8日(日) 尼崎港で回収した海藻類を堆肥にしたのびのび公園で栽培した尼いもを収穫し、夏に収穫した菜種の油で揚げ食した。

(9) 命の教育(アサーティブ教室)

12月17日(木) 保健委員会が中心となってアサーティブという「相手も自分も尊重した自己表現」の仕方について講師も招聘して学習した。

(10) クリスマスキャンドルナイト(尼崎市環境改善)

11月12日(木) あまがさき環境オープンカレッジ主催のクリスマスキャンドルナイトが阪神尼崎駅前公園で開催された。尼崎市の今日までの環境改善についての報告が行われた。そこで成良中学校の音楽部がイベントの一つとして記念演奏を行った。

(11) ソーラーカー体験

11月16日(月) 芦屋大学の協力を得て、ソーラーカーに試乗し、環境に優しいエネルギーについて学んだ。

(12) 近畿「子どもの水辺」

1 月 23 日（土）奈良県文化会館で実施された交流会に、
ネイチャークラブが参加した。ブースを出展し、尼崎の海
の活動や学校での活動を紹介した。

（13）牛乳パック回収

保健委員会で牛乳パックを回収して、それをトイレト
ペーパーに交換している。

（14）ペットボトルのキャップ回収

ペットボトルのキャップを回収して、CO₂の削減に貢
献している。

2 防災教育

（1）活動のねらい

阪神・淡路大震災から21年という年に、震災から得た貴
重な体験を語り継ぎ、それを将来の災害への備えとして日常
的な取り組みの中に生かしていけるように、生徒の防災意識
を高める。

（2）概要

1. 17 は忘れない～防災セミナー～

1. 黙祷
2. スライドショー鑑賞
3. NPO法人兵庫県防災士会から講師を招聘して講演会
を実施した。防災に関する専門家から具体的な非常時
にあたっての対応方法について学習した。
4. 各教室へ移動：担任より資料配布、資料活用の説
明。（各家庭でもよく話をするように指導）

資料：保護者への依頼文、『1.17 は忘れない～阪神・
淡路大震災から20年～』、『命を守れ！あまっ子災害対
応リーフレット』

（3）内容

日頃の備えで自分の命を守りましょう～地震と津波に備え
よう～

1. 尼崎の地勢を知る（海拔ゼロメートル地帯など）
2. 津波の被害想定
3. 南海トラフ巨大地震による震度分布
4. 地震の分類（主に2種類）
5. 想定地震による災害と減災の備え（揺れが最大10分間

津波到達時間は 1 1 7 分程度)

6. 安全確保の仕方 (安全確保運動)
7. DVD (①震度 6 弱の揺れで子ども部屋はどうなるか。
②釜石東中学校の実話)
8. 身近にできる防災対策 (事前の家具固定など)
9. 津波避難の大原則「より早くより遠くより高く」
10. 自助と共助 (自分の命は自分で守る)
11. 非常持出品について

(4) 自分たちの町を知る学習活動

尼崎市南部の海に近い校区の特徴 (地下水の汲み上げすぎによる地盤沈下で、町の 3 分の 1 が海拔 0 メートル地帯となっている)、津波による被害を知るために、尼崎閘門 (通称: 尼ロック) を訪問し、現地での学習会を行うことで、日頃の災害に備える意識を高めることができた。

3 食育 (総合的な学習の時間と技術・家庭科の連携)

【収穫祭】 ジャガイモの栽培から調理まで

- (1) 日時 平成 27 年 7 月 14 日 (火)・・・3 年生
7 月 15 日 (水)・・・2 年生
7 月 16 日 (木)・・・1 年生

- (2) 目的 ・技術・家庭と連携し食育を通して生きる喜び、命の尊さや感謝の心を学ぶ。
・命の循環について学ぶ。
・協力することの大切さを学ぶ。

- (3) 場所 調理室

- (4) 内容 カレー作り

- (5) 服装 体操服 (体育の授業と同様)、下はジャージ

- (6) 持ち物 タオル、水筒、カレー用ご飯、スプーン、ふきん、エプロン、三角巾

- (7) カレーを調理する

収穫祭は、技術科の授業で栽培・収穫したジャガイモを使用し、家庭科の調理実習というかたちで生徒全員が班ごとにカレーを調理する。土作りから手がけた無農薬、有機肥料で栽培し

た安全な食材である。また、１年生は小学６年生の時中学校訪問し植えた種いもから育てており、小中連携の活動にもなっている。

収穫祭当日は保護者の方々の調理への参加、手助けもあって盛大で楽しい学校行事となっている。また、環境教育の関係者や地域の方も招待し、一緒にカレーライスを食べる。

（８）「循環」について学ぶ

今回の取り組みで尼崎の海の栄養を堆肥にして、食物に取り込み食することで、循環型社会のモデルケースとなった。成良中学校では、ワカメ堆肥や海の生物を使って堆肥を作り、混ぜ込んだ土を使用することで多くの作物栽培に活用できるようになっている。

４ 伝統文化の「ほんもの」に出会う体験（生徒、地域、保護者をつなぐ活動）

【平成２７年度 邦楽鑑賞会】

邦楽の演奏に親しむことで、自然と一体化した生活の中で生まれ、継承されてきた日本の伝統や文化を守り、継承する態度を育むことを目的に邦楽鑑賞会を開催した。当日は、保護者、地域の方も招待した。生徒が「ほんもの」に出会う体験をして平成２３年度から行っている。

（１）日 時：平成２７年６月１０日（水） ５、６校時 １３時２０分

（２）場 所：本校体育館

（３）内 容：和太鼓演奏

（４）演奏者：「舞太鼓あすか組」

１９９０年飛鳥大五郎が設立する。フランス五大陸国際音楽祭、イスタンブール国際音楽祭などに出演。カイロ、オペラハウスでの公演はスタンディングオベーションの喝采を受けた。松本潤、長澤まさみ主演、黒澤映画のリメイク版『隠し砦の三悪人』に出演。劇中クライマックス“火祭りのシーン”の作曲・振り付け・演奏を行う。

また、２００７年世界最大の芸術祭イギリス『エジンバラ・フリンジ』では、一ヶ月公演を行った。

現在５枚のCDアルバムとビデオ『舞太鼓』を発表。２００８年フランス、台湾のレーベルよりDVDをリリース。２０１１年２０周年ツアーLIVE、DVDをリリース。

代表飛鳥大五郎著に『和太鼓のススメ』がある。他に TV、CM の出演、振り付け等、その活躍は多岐にわたっている。

5 日本の伝統音楽の継承（尼崎市内の中学校をつなぐ取り組み）

（１）目的

我が国の伝統音楽について体験を通して学び、伝統と文化を守り、継承する心と態度を育む。

（２）具体的な取り組みと内容

本校の音楽科（坪井美津子）が中心となって、尼崎市内中学校合同邦楽合奏団を結成し、演奏活動を通じて身につけた日本の伝統音楽に対する知識や技能を地域貢献につなげる活動を行った。

（３）練習会・講習会の実施

①「尼崎市内中学校合同邦楽合奏団」

合同練習会

尼崎市立成良中学校を拠点校として、夏休み期間中に、個別練習、学校別練習（各校 2 回）、地区別練習（4 回）、全体練習（5 回）を実施したことで、生徒の邦楽への興味・関心や演奏技術が向上した。

②指導者実技研修会

本校を会場に、生田流新絃社二代家元の狩谷春樹氏を講師に招いて研修会を開催した。講師による指導によって、曲のイメージに合った奏法や音色の表現を学ぶことができた。

③邦楽鑑賞会・講習会の開催

本校を会場に鑑賞会を実施した。後の講習会では、演奏に対する心構えや、演奏方法について指導を受けることができた。この指導によって、その後の生徒の取り組みが充実し、より美しい音色で演奏できるようになった。

（４）尼崎市内中学校合同邦楽合奏団の発表会・音楽会への参加

①平成 27 年 10 月 10 日に開催された、『第 36 回阪神地区中学校総合文化祭音楽部門発表会』に参加し、これまで練習に取り組んできた、「さくらメドレー」（狩谷春樹編曲）を演奏した。大きな発表会への参加によって、生徒に合奏の喜びを体験させ、自信と達成感を味わわせることができた。

た。

- ②平成27年11月6日に開催された『第66回尼崎市中学校・高等学校合同音楽会』に参加し「さくらメドレー」を演奏し優秀賞を受賞した。

6 募金活動（本校校区内の学校と連携をしての取組）

- （1）日 時：平成27年12月12日（土）
平成28年 2月 6日（土）

- （2）場 所：阪神尼崎駅前広場

- （3）内 容：地域の学校と連携して募金活動を行い、集まったお金を東日本大震災の被災地に寄付している。

【活動発表】

1 平成27年11月7日

尼崎ユネスコ協会と連携して『ユネスコセミナー』を開催し、ESDの取り組みと成果を発表した。

講師に尼崎市立南武庫之荘中学校教頭中岡禎雄氏を招聘し「尼崎の海と大地をつなぐいのちの教育～ESDの観点から～について講演して頂き、理解を深めることができた。

平成27年11月20日

全国小中学校環境教育研究大会参加及びユネスコスクール多摩市立多摩第一小学校加盟校視察。会場：多摩市立多摩第一小学校。

（1）内容

①公開授業の視察

1年生から6年生まで、各学年それぞれの学習課題に対して環境学習に取り組んでいた。

5年生は自分の調べた環境問題について班ごとに発表をして理解を深めていた。

6年生は環境先進国のスウェーデンと日本との環境問題についての取り組みの違い、スウェーデンへの質問、提案した。

②研究大会発表会開会式

基調発表

③研究発表

各ユネスコスクール認定校の研究成果の発表

④講演「地球温暖化の現状」

講師 国立環境研究所地球環境研究センター主任研究
員 横畠 徳太 氏

⑤講演・ワークショップ

「新たな時代のESD：ホールスクール・アプローチ
とその課題」

講師 聖心女子大学教授 教育学博士 永田 佳之

2 平成28年3月5日（土）

「第12回大阪湾フォーラムー湾奥から感じて、循環（つながり）、伝える」

（1）内容

①尼崎の海と森と運河の体感ツアー

成良中学校屋上緑化、北堀運河水質浄化施設、キャナ
ルベース、尼崎21世紀の森、菜の花の丘の見学

②ポスターセッション、基調講演、フリートーク

ネイチャークラブによる取り組み発表。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

■ 時間外活動の時間を使用

□ ユネスコクラブの活動として実施

□ その他

（

）